

令和2年度 みのわのぞみ保育園事業報告書

【施設運営状況】

- ・自然豊かな環境を活かし、園内外を問わず積極的に身体を動かし、個々の身体発達に合わせた十分な全身運動が行えるようにしました。
- ・おもちゃを増やしたり、環境構成を行ない、子どもたちが保育室内で密にならないよう常に工夫しました。
- ・保護者、保護者会との連携を十分に取り、子どもたちの個々の成長に合わせた保育にご理解を頂き、様々な行事にも協力を得て、良好な保育運営ができました。
- ・幼児クラスは、クラスに合わせて、トウモロコシやそら豆などの皮むきを体験しました。
- ・日頃より職員間で個々の育ちや気づきを共有し連携をとることができました。それぞれの専門性を活かし保育に対する意識を高め、協力や連携をとることを心掛けていきました。
- ・年齢別保育、支援児に対する理解など、更なる保育士の質の向上を目指し、園内研修を充実していきました。
- ・地域子育て支援事業では、減少しましたが、早くから保育園見学、園庭解放を実施し、地域の方々に施設を利用して頂きました。
- ・近隣のグループホームきららとの交流は、ホームを通る度にこどもたちが積極的に挨拶を交わして、距離を保って交流を続けました。
- ・幼保小の連携をこども同士が交流していくことは難しかったが、連絡を取り合い、小学校と保護者面談を行なうなどして就学につなげました。
- ・多くの寄付をいただき、こどもたちや職員に還元して、衛生面の強化につなげられました。

【職員の状況】

職名	令和2年4月1日の職員数					年間退任・就任										令和3年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)						
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員						計	正 規 職 員	有期契約職員			実 人 員 合 計	常 勤 換 算		
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契約職員		非常勤A		非常勤B				契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			常 勤 換 算	
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任									
園長	1				1										0	1					1	1
主任	1				1										0	1					1	1
保育士	10		1		11	3					1	1			5	10		1		1	11	11
栄養士	1				1										0	1					1	1
調理員	2				2										0	2					2	2
保育補助	0		1	2	3										0	0		1	2	1	3	1
調理補助	0				0										0	0						0
事務員	1				1										0	1					1	1
嘱託医	0	2			2										0	0	2				2	2
計	16	2	2	2	22	3					1	1		5	16	2	2	2	2	2	22	20

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

【利用者支援状況】

- ・非常勤職員を雇用し、状況に応じ保育内容等を整備しながら、子ども達が安定して過ごせるよう対応しました。
- ・園内外において、人との関わりや自然のふれあいを大切にし、季節が感じられるような場所へ散歩に行き、花々を見たり、自然物を集めて作品制作しました。
- ・子どもたちが自分の思いを言葉で伝えやすいよう、聞く時も伝える時も焦らずゆっくり対応するようにしました。
- ・年齢発達に合わせた様々な表現を楽しみ、活動の一環として運動会やおたのしみ会を行い、各行事の中でも、伝統行事に親しみ、遠足の代わりに家庭に協力をお願いして、園庭で各クラスがお弁当を楽しみました。
- ・季節の花やハーブ作りを楽しみながら、子どもたちが花を育てる喜びや摘んで香りを楽しんだり遊んだりして、健康な心と身体を育てました。
- ・日々の給食の中では子どもたちに食材や栄養、行事の由来などを栄養士の手紙として知らせ、日々の献立の食材に興味や関心を持たせて食育に繋げていきました。
- ・季節の行事、音楽に合わせて身体を動かすリズム遊びを実施しました。年間を通して、園庭(戸外)での行事を工夫し、新しい行事を考えたりして日々の保育内容をより充実させました。
- ・食物アレルギー児へ個々に応じた対応を行いました。
- ・「気になる子」への対応については、保護者との信頼関係を築きながら、日々の様子や成長を伝え、子どもに対する共通理解を深められるよう取り組みました。
- ・支援児への配慮は、行政や専門機関と連携をとり、保護者の理解のもと積極的な関わりを行い、子育ての喜びを共感していきました。

【施設整備状況】

- ・おもちゃ棚 購入
- ・幼児クラス収納棚 購入
- ・お散歩兼用避難車 購入
- ・ポータブル蓄電池 購入

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
31年度	11	15	19	19	19	83
2年度	11	15	19	19	20	84

【主なできごと】

年間行事予定 別途添付

【その他について】

安全管理

- 防災関連 毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施しました。
防災備蓄の充実を図り、期日を決め消費期限の管理をし、非常時の備えを行いました。
広域避難場所への移動を実施し、避難経路の確認をしながら今後の課題を見つける事が出来ました。
- 健康管理 園児は毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健診、歯科検診、尿検査(幼児クラス)を実施しました。職員は年1回の定期健診及び毎月の細菌検査を実施しました。
健康管理には最善の注意を払い、感染症については早急にお知らせを出しました。
- 衛生管理 おもちゃの消毒や室内の清掃、感染症の流行時には消毒を徹底しました。
- 安全管理 毎月1回マニュアルシートを見て確認を行いました。

地域交流

園庭開放や保育園見学を早期から受け付けて、園庭にて行なっていました。

研修会実施状況

別途添付

事業苦情内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
1件	保護者 (保護者→区役所 →保育園)	コロナ渦で登園を断られた。出産を控え精神的に参っている。 緊急事態宣言下に自宅の掃除をする理由での登園希望だったため、横浜市からの登園自粛要請の趣旨を説明した。しかし体調を理由に登園希望があったため、週3日お預かりした。